

# 令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 都市整備政策課

担当名: 企画・新都心事業調整担当

内線: 5655

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B4	さいたま新都心の街魅力アップ推進事業費			一般会計	土木費	都市計画費	都市計画総務費	さいたま新都心管理事業費		
事業期間	平成29年度～令和元年度	根拠法令	さいたま新都心まちづくり推進協定		宣言項目	11	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化			
					分野施策	061352	快適で魅力あふれるまちづくり			
1 事業概要				5 事業説明						
<p>バリアフリーの街であるさいたま新都心は平成12年5月の街開き以来18年が経過した。東京2020オリンピック競技大会のバスケットボール競技がさいたまスーパーアリーナで開催され、国内外から来訪者の増加が見込まれる中、多言語対応や音声案内等の一層の充実が求められる。</p> <p>また、周辺施設と回遊ルートの設定等の連携を図り、地域の魅力アップを推進する。</p> <p>(1) さいたま新都心の街魅力アップ推進事業費 △55,461千円 契約差金発生および経費節減による減</p>				<p>(1) 事業内容 ア さいたま新都心の街魅力アップ推進事業費 126,436千円→70,975千円 ・ けやきひろば及びさいたまスーパーアリーナの多言語案内等の整備工事</p> <p>(2) 事業計画 ・ けやきひろば及びさいたまスーパーアリーナの案内表示の改修・多言語化を東京2020オリンピック前までに実施する。</p> <p>(3) 事業効果 ・ 初めてさいたま新都心を訪れる国内外からのお客さまや障害をお持ちの方が迷わずにエリア内を移動でき、目的の施設へスムーズに到着できるようになる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ・ 県、さいたま市、地元企業、地元住民等で構成されているまちづくり推進協議会を中心に、さいたま新都心のにぎわい創出に取り組んでいる。</p> <p>(5) 補正予算の概要 ・ 契約差金発生による減 △55,445千円 ・ 経費節減による減 △16千円</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 地域活性化事業債 充当率90% 交付税措置 30%										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△55,461	県 債	△56,000						539	70,975
現計額	126,436		126,000						436	